



「いきいき なかよく のびのびと 笑顔あふれる 稲野小学校」

伊丹市立稲野小学校長 片山 尚

卒業式について



立春も過ぎ、暦の上では春なのですが、まだまだ寒い日もあります。この冬が特に寒かったせいもあり、暖かい春の日が待ち遠しいですね。

さて、文部科学省からの通知を受け、伊丹市でも今年度の「卒業証書授与式のあり方」が示されましたので、稲野小学校の実施方法を含め、主要内容についてお知らせします。

- ①十分な感染症対策を実施した上で、60分程度を目安とする。
- ②児童生徒及び教職員については、式典全体を通じてマスクを外すことを基本とする。
- ③来賓や保護者等はマスクを着用するとともに、座席間に触れ合わない程度の距離を確保した上で、参加人数の制限は不要とする。ただし、学校の規模や状況に応じて入場制限を行うことがある。(稲野小は会場の関係で未就学児を除く保護者2名までの参加とする。)
- ④身体的要因など様々な事情が考えられることから、学校や教職員がマスクの着脱を強いることのないようにする。
- ⑤参加者は、卒業生、保護者、来賓とする。
- ⑥内容については、卒業証書授与、学校長式辞、卒業生の言葉、国歌・校歌演奏とする。歌唱や、卒業生全員による呼びかけ等は行わない。
- ⑦祝電披露は、市長、議長、教育長のみとする。
- ⑧換気や参加者への咳エチケットの推奨、手の消毒や手洗い等の手指衛生など、必要な感染症対策を講じる。

※ただし、上記の内容について感染状況の変化によっては変更することがあります。

ソーラン隊、最後の舞い！！

2月14日(火)～16日(木)の3日間、業間休みに運動場で稲野小学校「ソーラン隊」が、南中ソーランの演舞を披露してくれました。

発表対象を低、中、高学年の3日間に分けての発表でしたが、ソーラン隊の最後の勇姿を見ようと、それぞれたくさん子どもたちが集まってきました。低学年の子どもたちは、「すごいなあ〜」「かっこいい。」と、憧れのまなざしで見つめ、自分たちも見ようと思っていました。



見まねで踊っていました。中学年の子どもたちは、「来年、自分たちも入りたい。」と言う子が大勢いました。高学年の発表では、終了後に「ご苦労様、ありがとう。」とクラスメイトが労いの言葉をかけている場面が印象的でした。

今年度は、コロナ禍で発表の機会も少なく、練習も制限され、思うように活動ができなかったと思いますが、それでもめげることなく練習

を続けてきたソーラン隊のメンバーに、拍手を送りたいと思います。夏祭りや稲小地区ふれあい文化祭、アイフォニックホールでのステージでは、稲野小学校の代表として堂々と迫力ある演舞を披露してくれました。今年度はこれで解散となりました。ここまでソーラン隊を引っ張ってきてくれた6年生のメンバーに感謝するとともに、1年生～5年生にはぜひ、これからも受け継いでいってくださることを願っています。今まで本当にご苦労様でした！



今年度は、コロナ禍で発表の機会も少なく、練習も制限され、思うように活動ができなかったと思いますが、それでもめげることなく練習

